

第 60 回技能五輪全国大会「左官」職種 競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、課題を制作しなさい。

はじめに

技術概要に準拠するため、左官職種競技はモジュール化されており、3つのモジュールが含まれています。各モジュールは個別に評価されるため、あるモジュールでミスがあっても、別のモジュールでポイントが失われることはありません。

- ・第 60 回競技課題では、一部の寸法を競技 1 日目に変更いたします。
- ・各部の位置を示す非公表寸法は、競技 1 日目の課題説明の際、実施図面を配布する形で公表します。

1. 競技時間

標準時間 9 時間 30 分 ※休息时间含まれず

- ・モジュール 1 = 6 時間 30 分 打切時間 6 時間 40 分
- ・モジュール 2 = 1 時間 30 分 打切時間 1 時間 40 分
- ・モジュール 3 = 1 時間 30 分 打切時間 1 時間 40 分

2. 作業説明

別紙 1 のとおり

3. 仕様（モジュール別、作業内容および指示事項）

別紙 2・3 のとおり

4. 注意事項

別紙 4 のとおり

5. 支給材料および部材

別紙 5 のとおり

6. 持参工具

別紙 6 のとおり

作業説明

1. 課題の制作は、モジュール形式とする。3工程に分割した作業を決められた時間内に行う。
2. 作業台及び作業エリアは、常に整理整頓する。
3. 使用工具及び施工法は、指示事項を除き自由選択とする。スケール、差し金等の計測用具は、J I S規格品とする。
4. 支給された材料を確認する。異常のあるときは競技前に申し出る。
5. 持参工具の展開は、会場下見の時に行う（付添人も可）。
6. 引き型は、図面寸法を採用する。
7. モールディングの張り付け材料は、自由とする。ビス止め併用可（有機接着剤は禁止）。
8. 張り付けたモールディングと壁の間は、すき間なく仕上げる。
9. 置引き作業時における引き型の洗水容器の容量は、最小限度にとどめる。
10. 石膏ボード切断・加工及び置引き等の作業は、備え付けの作業台を使用する。板の継ぎ足しに関しては、持ち込み不可とする。
11. 軽量鉄骨加工及び石膏ボード切断時は、安全のため切創防止手袋を着用する。
12. 課題の下地は、ベベルボード(9.5 mm)の表面にシート貼りしたものとする。寸法は、1,820 mm×1,820 mmとする。
13. 作業エリアの床養生は、主催者側で行う。
14. 制作したモールディングの切断は、箱定木（留め型）の使用を可とする。指定寸法に合わせて、両側を切断できるように造った箱定木の使用は、禁止する。

別紙 2

仕様（モジュール別、作業内容と説明）

モジュール 1

施工日：1 日目「11 月 5 日（土）」

施工時間：6 時間 30 分（8:50~12:00）（13:00~16:40）

（午前、午後ともに休息時間を各 10 分間取ること）

作業内容：・各種墨出し

- ・ふかし壁の軽量鉄骨加工・組み立て、石膏ボード加工・取付け
- ・厚塗り部（ふかし壁:内壁とみなす）のコーナ一定木取付け、中塗り
- ・薄塗り部（一般部：外壁とみなす）のコーナータープ張り付け、下塗り
- ・モルディング A 引き型鉄板加工、モルディング A・B 制作（石膏置引き）
- ・モルディング A（額縁）・B（面台）の取付け
- ・パテ部の仕上げ

作業説明：・中心墨、陸墨は、各自で出す。陸墨は、課題中心部の床から 1,000 mm 上がりの位置を基準とする。ふかし壁を制作するのに必要な墨、モルディング A（額縁）・B（面台）の取付け墨は、中心墨、陸墨から追い出す。

- ・ふかし壁は、軽量鉄骨（ランナー、スタッド）を組み立て、石膏ボードを取付ける。
- ・軽量鉄骨に石膏ボードを止めるビスの間隔は、200 mm 以内とする。
- ・厚塗り部は、出角にコーナ一定木（3 K）を中塗り墨に合わせて固定し、平らに中塗りをする。
- ・薄塗り部は、ボード小口にコーナータープを張り付け、平らに下塗りをする。
- ・モルディング A の引き型は、方眼紙と鉄板を用いて制作後、持参した木型に取付けて完成させる。B の引き型は、完成したものを持参してよい。
- ・モルディング A・B は、焼石膏を用いて置引きで制作する。
- ・置引きの下地に使用する発泡スチロール(1,820×450×15)は、支給する。
発泡スチロールは、必要な場合使用してもよい（持ち込み不可）。
- ・仕上がったモルディング A（額縁）・B（面台）は、切断加工し取付ける。
接合部は、補修する。
- ・パテ部は、パテ材を塗り付けた後に、サンドペーパーをかけて平らに仕上げる。

別紙 3

モジュール 2

本モジュールは、スピード競技となる。

施工日：2 日目「11 月 6 日（日）」

施工時間：1 時間 30 分(8:50~10:20)

作業内容：・厚塗り部の上塗り
・モールディング A（上部）・モールディング B（巾木）の取付け

作業説明：・厚塗り部は、支給した上塗り材を全面に塗り付けた後、鋺を使い模様付け仕上げとする。

・モールディング取付け墨を出す。

・モールディング A（上部）・モールディング B（巾木）は、切断加工し墨に合わせて取付ける。
接合部は、補修する。

モジュール 3

施工日：2 日目「11 月 6 日（日）」

施工時間：1 時間 30 分(10:40~12:10)

作業内容：・薄塗り部の上塗り
・自由課題仕上げ

作業説明：・薄塗り部は、支給した上塗り材を 2 回塗りし、水引き具合を見て鋺押さえ仕上げとする。

・モールディング A（額縁）の内側は自由課題とし、左官材料で仕上げる。
自由課題の材料は、各自持参する。

別紙 4

注意事項

- 1 競技中、工具の貸し借りは禁止する。
- 2 丸ノコの使用を禁止する。ジグソー・充電ドライバー・マルチツールの使用は可。
- 3 安全規則を守る。ケガをした選手は、競技委員が協議を行い、対応を決定する。
- 4 休息时间及び作業終了後は、速やかに参加票を係の者に提出する。
- 5 作業台は、型枠用として市販されているコンクリート型枠用塗装合板を使用する(1,800×900×12)。
- 6 置引きに使用するアルミ製定木・走り定木は、支給する。持ち込み不可。
墨出し、その他に使用する定木は、持ち込み可とする。
(あらかじめ指定寸法を記入した定木の使用は、禁止する)
- 7 軽量鉄骨組み立てに使用するビスは、各自持参する。
- 8 支給したランナーは、各自ハサミで切断加工して使用する。
- 9 スタッド固定用のアングルピースは、使用・不使用どちらでも可とする。
使用するときは、各自持参する。
- 10 ランナー・スタッドは、ビス止めとする。
- 11 モジュール 1・2・3 で使用する塗り材料は、当日係員が支給する。
- 12 置引きの引き型は、1日目の作業終了後、すべて提出する。
- 13 時間超過や仕様誤り及び作業説明・注意事項に関して違反した場合は、減点する。

公表 別紙5

支給材料・部材

番号	品名	規格	数量	備考
1	鉄板	200 mm×100 mm×0.4mm	1 枚	引き型制作
2	方眼紙	A4 1 mm方眼	1 枚	引き型制作
3	焼石膏	吉野石膏 桜印 A 級 20 kg	2 袋	モールドイング制作
4	Uトップ	吉野石膏 (株) 中塗り	適量	厚塗り部 中塗り
5	けいそうモダンコート内装	四国化成工業 (株) 上塗り SK セレクトカラー 386	適量	厚塗り部 上塗り
6	マルチベース	日本プラスター (株) 下塗り	適量	薄塗り部 下塗り
7	トラッド	日本プラスター (株) 上塗り	適量	薄塗り部 上塗り
8	タイガージョイントセメント (ペースト)	吉野石膏 (株)	適量	パテ仕上げ
9	ニューツーウェーコーナー定木	フクビ化学工業 (株) 3K 1,820 mm	4 本	厚塗り部 角用
10	コーナー補強テープ	四国化成工業 (株) 50 mm幅 3,000 mm	1 本	薄塗り部 ボード小口用
11	タイガーボード (ベベルボード)	吉野石膏 (株) 1,820 mm×910 mm×9.5 mm	1 枚	ふかし壁制作
12	アルミ製定木	1,800 mm×60 mm×25 mm	2 本	置引き作業
13	走り定木	3,640 mm×36 mm×12 mm	1 本	置引き作業 その他
14	ランナー	(株)桐井製作所 同等品 壁下地材 SQ - ランナー40 1,800 mm	3 本	ふかし壁軽量鉄骨材料
15	スタッド	(株)桐井製作所 同等品 壁下地材 SQ - BAR 4050 1,795 mm SQ - BAR 4050 510 mm SQ - BAR 4050 310 mm SQ - BAR 4050 290 mm	2 本 1 本 1 本 1 本	ふかし壁軽量鉄骨材料
16	発泡スチロール	1,800 mm×450 mm×15 mm	1 枚	置引き中込め用
17	スタイロフォーム	1,800 mm×900 mm×50 mm	1 枚	ジグソー切断用クッション
18	取り舟	小	1 個	残土用容器
19	バケツ	18ℓ	3 個	プラスチック製
20	作業台	1,800 mm×900 mm	1 台	置引き・各種作業用
21	置き台	1,800 mm×900 mm	1 台	モールドイング保管用

別紙 6

第 60 回技能五輪全国大会「左官」職種 持参工具等一覧表

番号	品名	規格	数量	備考
1	使用工具	工具箱に収まる範囲	一式	
2	工具箱	大きさは 1 m ³ 前後	1 個	
3	モールドイング張付け材		適量	有機接着剤不可
4	自由課題仕上げ材	左官材料	適量	
5	養生テープ	市販品	適量	
6	保護用手袋	切創防止手袋	1 枚	軽鉄・ボード切断時着用
7	脚立（作業台）	高所作業用	1 脚	使用者は持参すること
8	パテ材保管容器	20前後容器	1 個	材料配布用

※工具箱の大きさは 1 m³前後とする。

著しく大きい工具箱の持参は、協議の上減点とする。